

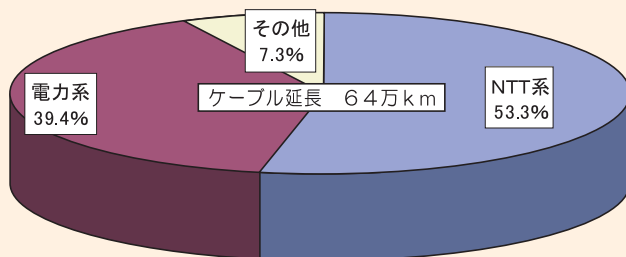
## 9 ケーブル敷設

### 9-1 光ファイバケーブルの敷設状況(中継系+加入者系)

NTT系が保有する光ファイバケーブル(全体:中継系+加入者系)の敷設状況は、ケーブル延長(亘長×ケーブル条数)で約53%。芯線延長(ケーブル延長×光ファイバの芯線数)では約69%。

平成15年9月末	ケーブル延長	芯線延長
NTT系(3社)	34万km	3870万km
電力系(12社)	25万km	1441万km
その他(16社)	5万km	292万km
全体	64万km	5603万km

#### ○ 中継系+加入者系(ケーブル延長)



※CATV事業者は除く

#### 【参考】

様式第18の提出事業者

#### ・「NTT系」

NTT東日本、NTT西日本、NTTコミュニケーションズ

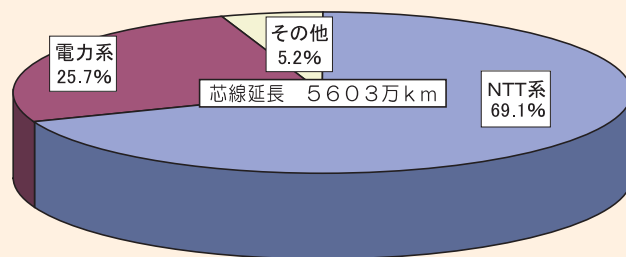
#### ・「電力系」

パワードコム、エネルギア・コミュニケーションズ、ケイ・オブティコム、九州通信ネットワーク、北陸通信ネットワーク、中部テレコミュニケーション、STNet、北海道総合通信網、東北インテリジェント通信、沖縄通信ネットワーク、東京電力、中部電力

#### ・「その他」

KDDI、日本テレコム、C&WIDC、ユーズコミュニケーションズ、IPレボリューション、メディア、グローバルアクセス、ザ・トーカイ、グローバルワン、東京レポートセンター、メトロアクセス、KVHテレコム、京王ネットワークコミュニケーションズ、三菱電機情報ネットワーク、日本ネットワークエンジニアリング、コアラ

#### ○ 中継系+加入者系(芯線延長)



※CATV事業者は除く

(※1) 平成15年度の電気通信事業分野における競争状況に関する調査(様式第18)に基づき作成。

(※2) ケーブル延長は、同一ケーブルに複数事業者の芯線が収容されているケーブル分を二重に計算しないように調整したものであり、「電力系」について0.8万kmを控除。

(※3) 本図作成にあたり、提出のなかった芯線延長のデータに関しては、次式により推計し加算。

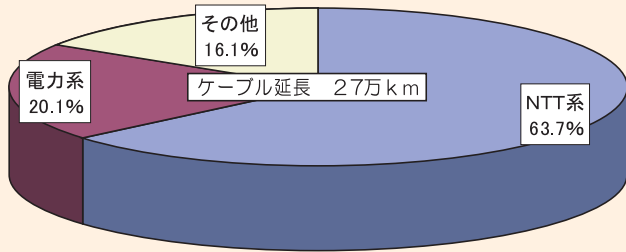
提出の無かったデータ	推計方法
北海道総合通信網の芯線延長(加入者系)	同社の加入者系ケーブル延長× (同社の中継系芯線延長/同社の中継系ケーブル延長)

## 9-2 光ファイバケーブルの敷設状況(中継系)

中継系の光ファイバケーブルのうち、NTT系が保有するのは、ケーブル延長で約64%、芯線延長で約77%。NTT系に電力系を加えた比率はケーブル延長で約84%、芯線延長で約87%。

平成15年9月末	ケーブル延長	芯線延長
NTT系(3社)	17万km	1396万km
電力系(12社)	5万km	191万km
その他(16社)	5万km	238万km
全体	27万km	1825万km

### ○ 中継系(ケーブル延長)



※CATV事業者は除く

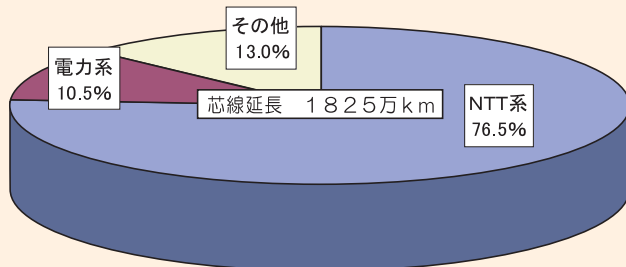
【参考】  
様式第18の提出事業者

・「NTT系」  
NTT東日本、NTT西日本、  
NTTコミュニケーションズ

・「電力系」  
パワードコム、エネルギア・コミュニケーションズ、  
ケイ・オブティコム、九州通信ネットワーク、  
北陸通信ネットワーク、中部テレコミュニケーション、  
STNet、北海道総合通信網、東北インテリジェント  
通信、沖縄通信ネットワーク、東京電力、中部電力

・「その他」  
KDDI、日本テレコム、C&WIDC、ユーズコミュニ  
ケーションズ、IPレポリューション、メディア、  
グローバルアクセス、ザ・トーカイ、グローバル  
ワン、東京レポートセンター、メトロアクセス、  
KVHテレコム、京王ネットワークコミュニケー  
ションズ、三菱電機情報ネットワーク、日本ネッ  
トワークエンジニアリング、コアラ

### ○ 中継系(芯線延長)



※CATV事業者は除く

(※1) 平成15年度の電気通信事業分野における競争状況に関する調査(様式第18)に基づき作成。

(※2) ケーブル延長は、同一ケーブルに複数事業者の芯線が収容されているケーブル分を二重に計算しないように調整したものであり、「電力系」について中継系分0.2万kmを控除。

(※3) 本図作成にあたり、提出の無かった芯線延長のデータに関しては、次式により推計し加算。

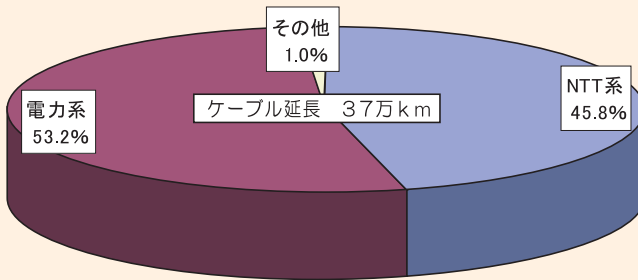
提出の無かったデータ	推計方法
東京電力の芯線延長(中継系)	同社の芯線総延長×(同社の中継系ケーブル延長/同社のケーブル総延長)

### 9-3 光ファイバケーブルの敷設状況(加入者系)

加入者系の光ファイバケーブルは、電気通信事業者によって、ネットワーク構造、局舎の配置分布等が異なるため、単純には合算、比較できない。加入者系の光ファイバケーブルのうち、NTT系が保有するケーブル延長は、約46%。電力系は約53%。芯線延長ではNTT系が約66%で電力系の約33%。いずれの場合も、両方を加えると約99%に達する。

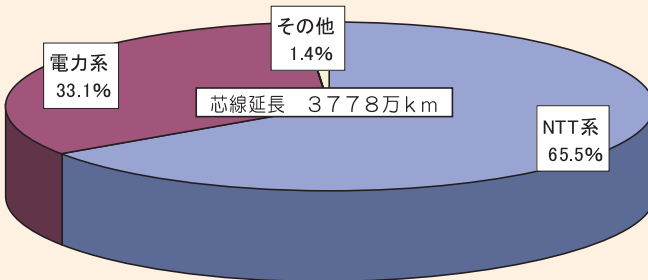
平成15年9月末	ケーブル延長	芯線延長
NTT系(3社)	17万km	2474万km
電力系(12社)	20万km	1250万km
その他(16社)	0.4万km	54万km
全体	37万km	3778万km

#### ○ 加入者系(ケーブル延長)



※CATV事業者は除く

#### ○ 加入者系(芯線延長)



※CATV事業者は除く

#### 【参考】

様式第18の提出事業者

・「NTT系」  
NTT東日本、NTT西日本、  
NTTコミュニケーションズ

・「電力系」  
パワードコム、エネルギア・コミュニケーションズ、  
ケイ・オプティコム、九州通信ネットワーク、  
北陸通信ネットワーク、中部テレコミュニケーション、  
STNet、北海道総合通信網、東北インテリジェント  
通信、沖縄通信ネットワーク、東京電力、中部電力

・「その他」  
KDDI、日本テレコム、C&WIDC、ユーズコミュニ  
ケーションズ、IPレボリューション、メディア、  
グローバルアクセス、ザ・トーカイ、グローバル  
ワン、東京レポートセンター、メトロアクセス、  
KVHテレコム、京王ネットワークコミュニケー  
ションズ、三菱電機情報ネットワーク、日本ネッ  
トワークエンジニアリング、コアラ

(※1) 平成15年度の電気通信事業分野における競争状況に関する調査(様式第18)に基づき作成。

(※2) ケーブル延長は、同一ケーブルに複数事業者の芯線が収容されているケーブル分を二重に計算しないように調整したものであり、「電力系」について加入者系分0.7万kmを控除。

(※3) 本図作成にあたり、提出の無かった芯線延長のデータに関しては、次式により推計し加算。

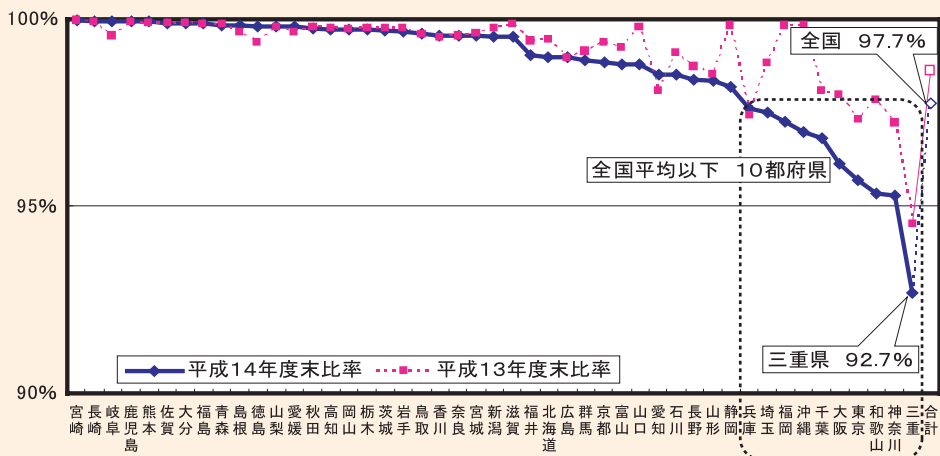
提出の無かったデータ	推計方法
北海道通信網の芯線延長(加入者系)	同社の加入者系ケーブル延長× (同社の中継系芯線延長/同社の中継系ケーブル延長)
東京電力の芯線延長(加入者系)	同社の芯線総延長-(9-2で推計した同社の中継系の芯線延長)

### 9-4 加入者系伝送路設備(メタル+光ファイバ)のNTT東西のシェア(都道府県別)

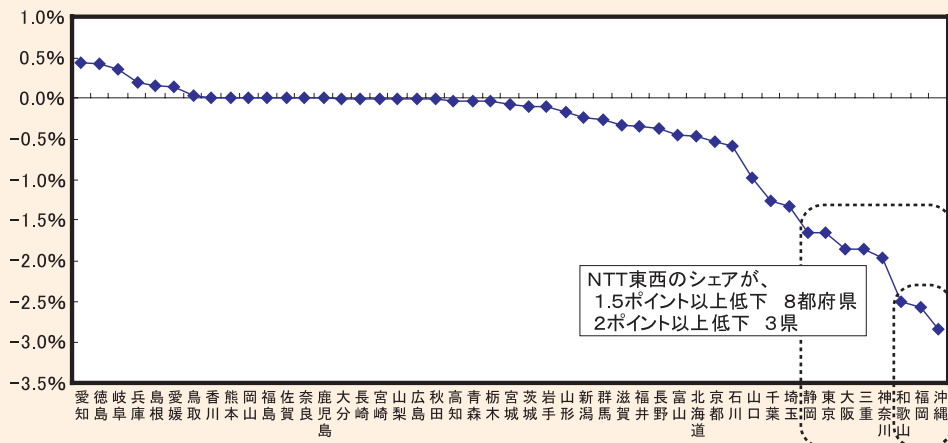
平成14年度末におけるNTT東西の加入者系伝送路設備(メタル+光ファイバ)シェアは、前年度末と比べ1ポイント低下したものの98%。都道府県別では、全都道府県で90%を上回り、最も低い三重県で93%を占める。

- 全国平均：98%
- NTT東西のシェアが95%以上の地域：46都道府県
- NTT東西のシェアが対前年比で増加した地域：12県
- NTT東西のシェアが減少した地域：35都道府県

○ 加入者系伝送路設備(メタル+光ファイバ)に占めるNTT東西のシェア(都道府県別)



○ 加入者系伝送路設備(メタル+光ファイバ)に占めるNTT東西のシェアの増減(都道府県別)  
(平成13年度末と平成14年度末の比較)



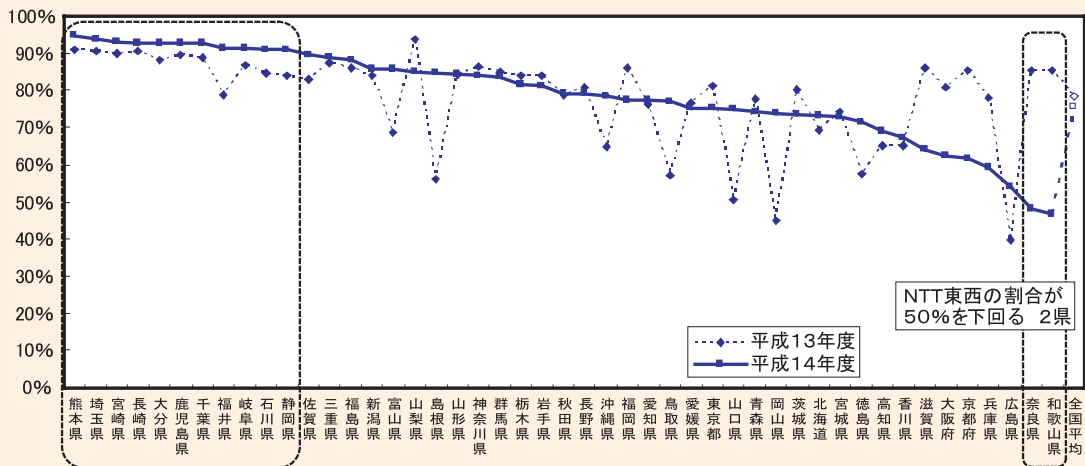
(※) 総務省の公表資料に基づき作成。

### 9-5 加入者系伝送路設備(光ファイバ)のNTT東西のシェア(都道府県別)

NTT東西の加入者系伝送路設備(光ファイバ)シェアは、この1年間に、全国で3ポイント低下(平成13年度末78.5%→平成14年度末75.5%)。都道府県別にみると、岡山県、島根県、山口県、鳥取県等の地方で上昇し、和歌山県、奈良県、京都府等の近畿圏で低下。

- NTT東西のシェアが対前年比で増加した地域：29道県
- NTT東西のシェアが対前年比で減少した地域：18都道府県

○ 加入者系伝送路設備(光ファイバ)に占める都道府県別NTT東西のシェア



○ 加入者系伝送路設備(光ファイバ)に占める都道府県別NTT東西のシェアの増減

